

令和6年度 いじめ問題解決に向けた藤岡市立鬼石中学校の取組

1 いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

「全員が相手の意見を受け入れ失敗を恐れない雰囲気にしてみんなが意見を言いやすい環境にする」

2 「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

○いじめ撲滅宣言・行動

私たちは、相手の目を見て心のこもったあいさつをします。

私たちは、児童会・生徒会活動や学校行事を通してうるおいがあり、温かい学級・学校を自らつくります。

私たちは、学年・学校をこえて交流をさかんにし、思いやりの心を育てます。

私たちは、友達のよいところを進んで認め、ほめます。

鬼石中学校では、「かかわり」をテーマに掲げ、あいさつやコミュニケーションに力を入れることで、他人を認め合ったり気遣ったりするなど、全校生徒の意識を向上させ、笑顔あふれる学校を目指したいと考えました。

○いじめ撲滅宣言・行動を具現化する取組

- ・あいさつ運動に力を入れ、全校生徒があいさつを交わす明るい笑顔あふれる学校づくりを目指す。
- ・陸上記録会、桜華祭などの学校行事で団結力を高めたり、仲間との絆を深めたりできるよう意識して取り組む。
- ・全校生徒が交流できる機会を積極的に設け、鬼石中全体でより良い人間関係が作れるようにする。
- ・いいところ探しを行ったり、ハッピーはーとふるツリーを掲示したりして、全校で仲間のよさを認め合う活動を行う。

3 共通の取組

(1) あいさつ運動

鬼石中学校では、生徒会本部役員とボランティアの生徒（あいさつし隊）があいさつ運動を行いました。鬼石中学校で行っているあいさつ運動は、中学校生徒が出身小学校を訪れ、児童会生徒とともにあいさつをする、というスタイルです。また、地域ボランティアの方々にも参加をしてもらい、小学生・中学生・大人が一緒にあいさつ運動を行いました。昨年度までは感染症対策のためできませんでしたが、今年から従来行っていたハイタッチも行うようになり、生徒たちは登校してくる小学生に積極的に声をかけることができました。また、中学生として成長した姿を小学校の先生や地域の方々に見ていただくよい機会となっています。



（2）ハッピーはーとふるツリー活動

鬼石中学校では前期人権集中学習期間にハッピーはーとふるツリー活動を行いました。校内陸上記録会にむけて、同級生だけでなく、上級生や下級生とも関わることが多い時期だったので、いろいろな人達との関わりの中で「よかった行動、よかった言葉かけ」をピンクの花びらや緑の葉っぱに書き、はーとふるツリー活動を各学年で充実させました。どの学年のはーとふるツリーも、よかった行動やよかった言葉かけ、感謝の言葉などで満開となり、学年を越えた交流も見られました。



4 私たちの取組

（1）校内陸上記録会

校内陸上記録会は全校を縦割りで3つの団に分け、団対抗で点数を競い合い、それぞれの団が総合優勝を目指しました。行進、個人種目、選抜リレー、団対抗全員リレーなどの種目で競い合いました。3年生を中心となり、出場種目を決めたり、昼休みの行進練習をしたりしました。学年を越えて、自分の団の選手を応援したり、記録会終了後にお互いの健闘をたたえ合ったりし、全校で絆を深めることができました。



（2）桜華祭

鬼石中学校の文化祭「桜華祭」のメインイベントの合唱コンクールでは、全クラス共通の課題曲、各クラスの自由曲、全校合唱が行われました。合唱を通して、クラス・学年・全校の結びつきを強めることができました。ダンス発表では、各学年内で4～6人のグループを作り保健体育の授業を中心に練習を積み重ねました。またスローガン決めから準備、当日の運営や司会進行を生徒主体で進めるなど、生徒同士がつながりや協力することの大切さを感じながら桜華祭を実施することができました。



（3）いじめ問題解決に向けた鬼石中校区教育懇談会

今年度は、「正しいと思っていることをどう伝えるか」をテーマに掲げ、教育懇談会を行いました。昨年度の全校生徒・教員・保護者・地域の方々に加え、今年度は鬼石北小学校・鬼石小学校の6年生が一堂に会し、「正しいと思っていることをどう伝えたらよいのか」について、班で協議しました。自分が正しいと思ったことを、相手がいやな気持ちにならないように伝えるための行動目標について、班ごとに意見を出し合い、全体で意見の共有を行いました。児童・生徒と大人が一緒になって考える懇談会は、様々な立場から意見を伝え合うことができ、互いに有意義なものとなりました。



(4) 人権集中学習

6月と12月の2回、集中学習期間を設けました。

6月の前期人権集中学習では、「他者との関わり方を考える」というテーマで、江戸しぐさにならって、相手を思いやりお互いが気持ちよく過ごすために「鬼石中しぐさ」を意識することについて考え、生活しました。ハッピーはーとふるツリー活動に加え、短所を長所に変えるリフレーミングも行いました。

12月の後期人権集中学習では、「他者とのつながりを考える」というテーマで「他の誰かを元気にする」という視点から、その為のコミュニケーションの方法について考えました。朝の会で1分間トークを行い、思いやりの視点から他人を理解することを意識し、よりよいコミュニケーションについて考えました。

また、前期後期ともに、期間中の昼や帰りなどの時間に人権ソング「いのちの歌」を流し、人権や周りとの関係を大切にする意識をみんなで共有することができました。



5 取組のまとめ

(1) 取組の成果

- 生徒会本部役員が中心となって、学校行事の準備や運営などを生徒主体で行うことにより、学校に活気をもたらすことができた。また、あいさつ運動やいじめ問題解決にむけた子ども会議に、学校の代表としての自覚をもって参加し、多くの生徒がやりがいや達成感を味わうことができた。
- 桜華祭や陸上記録会などの学年・縦割りでの学校行事や活動を通して、学校全体の生徒が団結でき、互いの絆を強くすることができた。
- 小規模校の特徴を生かして、縦割り清掃や桜華祭に向けた縦割りでの合唱練習などの異学年の活動を行ったり、人権にまつわる全校集会を実施したりすることで、他者を思いやる気持ちが強くなった。
- 教育懇談会や人権集中学習を通して、他者への思いやりやコミュニケーションの大切さを学び、様々な意見や考え方があることを実感した。

(2) 今後の課題

- いじめ問題解決に向けた子ども会議の際、鬼石中学校区での重点課題とした、「全員が相手の意見を受け入れ失敗を恐れない雰囲気にしてみんなが意見を言いやすい環境にする」(互いを認め合うことによる、よりよい関係づくり)の具体的な活動を、子ども達自身が考えて決め、実行する。
- 各クラスの授業等で、互いのよさや頑張りなどを認め合う活動の充実をさらに図れるようにする。
- 人権集中学習で学んだ事を、その期間だけでなくその後の日常の学校生活における生徒同士の関わりの中で生かせるようにする。クラスの中で自己存在感や自己有用感を感じることができるように、朝の会や帰りの会、学活や道徳などの授業内でお互いのよさや頑張りなどを認め合う活動を取り入れ、常時活動の充実を図る。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立 鬼石中学校

月	学校の取組	中学校区での取組
4月	・学校生活アンケート(楽しい学校生活のための 悩みごと・いじめ実態調査) ・QUテストの実施(1回目)	・鬼石中校区小中あいさつ運動
5月	・学校生活アンケート(楽しい学校生活のための 悩みごと・いじめ実態調査)	・鬼石中校区小中あいさつ運動
6月	・学校生活アンケート(楽しい学校生活のための 悩みごと・いじめ実態調査) ・前期人権集中学習 ・ハッピーはーとふるツリー活動	・鬼石中校区小中あいさつ運動
7月	・学校生活アンケート(楽しい学校生活のための 悩みごと・いじめ実態調査) ・三者面談の実施 ・SOSの受け止め方に関する授業の実施	・鬼石中校区小中あいさつ運動
8月		・鬼石中校区小中あいさつ運動
9月	・学校生活アンケート(楽しい学校生活のための 悩みごと・いじめ実態調査)	・鬼石中校区小中あいさつ運動
10月	・学校生活アンケート(楽しい学校生活のための 悩みごと・いじめ実態調査)	・鬼石中校区小中あいさつ運動
11月	・学校生活アンケート(楽しい学校生活のための 悩みごと・いじめ実態調査) ・三者面談の実施 ・いじめ問題解決に向けた教育懇談会 ・QUテストの実施(2回目) ・後期人権集中学習 ・いじめ問題解決に向けた子ども会議事前打ち合わせ	・鬼石中校区小中あいさつ運動 ・いじめ問題解決に向けた教育懇談会
12月	・学校生活アンケート(楽しい学校生活のための 悩みごと・いじめ実態調査)	・鬼石中校区小中あいさつ運動
1月	・学校生活アンケート(楽しい学校生活のための 悩みごと・いじめ実態調査) ・いじめ問題解決に向けた子ども会議開催 ・SOSの受け止め方に関する授業の実施	・鬼石中校区小中あいさつ運動
2月	・学校生活アンケート(楽しい学校生活のための 悩みごと・いじめ実態調査)	・鬼石中校区小中あいさつ運動
3月	・学校生活アンケート(楽しい学校生活のための 悩みごと・いじめ実態調査)	・鬼石中校区小中あいさつ運動